

## iTRADEのリアルトレード移行の注意点とリアルサーバーのバスケット削除機能について

### 1. リアルトレード移行の注意点

#### リアルサーバーでの基本操作

・リアルサーバーのストラテジー登録は最大15ストラテジーを予定(バックテストサーバーの制限と同じ仕様になる。バスケットの数に制限は無い)。(SIMとFWDは数の計算には入らない)
・リアルサーバーにストラテジーバスケットを登録したら、バスケットの運用資産は手作業で入力する。(カブコム資産とは別扱いなので注意) バスケットの資金配分方式が「最大効率」の場合はストラテジーの入出金設定は不要ですがバスケットの資金配分方式が「固定」の場合はバスケットとストラテジー毎の入出金設定が必要です
・FWDとSIMはリアルからコピーする方法で、手作業で追加する(自動的に追加される訳ではない)
・FWDはバックテストサーバーでの日足ベースのテストと同じ方式で、リアルサーバー上で日々テストしている。SIMはティック・バイ・ティックで、実際の値動きを追いかけて、シミュレーション売買を行っているため、実際の売買に近い結果となる。
・リアルサーバーのバスケットの内容を変更したい場合は、テストサーバー側で変更したバスケットで書き換える。(リアルサーバー側では変更はできない)
・新たなストラテジーバスケットをリアルサーバーに追加したい場合は、異なるバスケットIDで転送する。(同じバスケットIDだと既存のバスケットが書き換えられる)
・バックテストサーバーからリアルサーバーにバスケットを送り直す時、既存のストラテジーの手仕舞いを変更する場合は、オーダーパターンを消さずに、そのオーダーを編集することで、シームレスに挙動変更が可能となる。もしオーダーを削除してしまうと、ポジションのタグが異なってしまうので、ポジションが宙ぶらりんとなってしまい、そのオーダーでは手仕舞いができなくなってしまう。(カブコムから手動で手仕舞いするしかなくなる)
・トラックレコードの損益%は当初運用資産にて計算されるが、サマリーの資産IDXは入出金を加味した計算にて損益%を計算している。
・バスケットの上書き保存やtrue、falseの設定の変更は営業日の朝の7:30に反映される設定が反映されるまで何度書き換えや変更を行っても設定変更直前に行った最後の上書き等の変更が反映される

### 2. リアルサーバーのバスケット削除機能についての説明

#### 基本的な操作方法

・リアルサーバーでは、バスケットの削除は出来るがストラテジー単体の削除は不可。特定のストラテジーのみを削除したい場合は、バックテストサーバー側でそのストラテジーを削除した上で、同一バスケットIDでリアルサーバーのバスケットを上書きコピーする。
・バスケットを削除する場合は、一旦ストラテジーを無効(False)にし、保有しているポジションをルール通りに手仕舞った後に削除を実行する。強制手仕舞い(緊急操作から)で手仕舞った後、バスケットの削除を行うことも可能。カブコムから手動で手仕舞いをするといTRADE内の銘柄情報も消えるように反映される(手動仕掛けでは反映されない)
・リアルサーバーのバスケット内に、有効なストラテジー(true状態のストラテジー)が存在する場合は、バスケットの削除ができない。
・バックテストサーバーからリアルサーバーへバスケットを送信する際も、バスケットの中身のストラテジーが減る(削除となる)場合は同様のチェック(対象のストラテジー毎のチェック)が入る。

#### 場中の削除

・リアル → trueの時は不可。ポジションがあつたら不可
・SIM → いつでも可能
・FWD → いつでも可能
・true設定のものをfalseにしてもすぐには削除できない 翌営業日朝7:40頃にfalseへの設定の変更が反映されるのでここからは削除が可能となる(ポジションがあつても削除可能ですが、自己責任でお願いします)。
・バスケットを削除してから、翌7時40分までに再度、同一バスケット名では登録できません。

#### 削除の同期

・リアルを削除すると FWD SIM も削除される
・FWD SIM の単体の削除は可能